

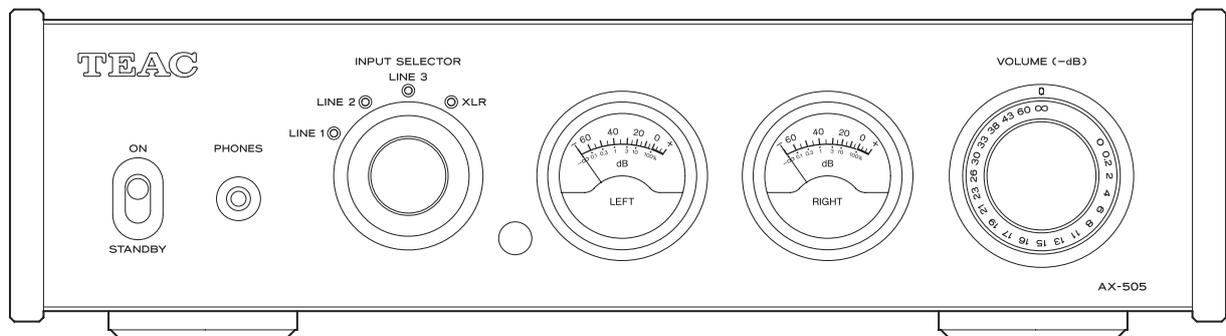
TEAC

AX-505

プリメインアンプ

取扱説明書

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に
保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。



目次

付属品	2
安全にお使いいただくために	3
お使いになる前に	6
お手入れ	6
リモコンの使い方	6
スピーカーの接続	7
接続	8
ヘッドホンの接続	9
各部の名前とはたらき(本体)	10
各部の名前とはたらき(リモコン)	11
基本操作	12
困ったときは	14
仕様	15

付属品

万一付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店、または弊社 AV お客様相談室(裏表紙に記載)にご連絡ください。

電源コード × 1

リモコン (RC-1332) × 1

リモコン用乾電池 (単 4) × 2

取扱説明書 (本書、保証書付き) × 1

記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。

適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、快適な生活環境を守りましょう。

このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

 警告 以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>万一、異常が起きたら 煙が出たり、変なおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落としたり、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。</p>
 禁止	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。</p>
	<p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p>
	<p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(3cm以上)離して置く ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあけるすきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
	<p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。</p>
	<p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
	<p>イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間、高音量で聴かないでください。</p>
 指示	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年1回くらい)に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 禁止	<p>機器の上に花瓶や水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>

安全にお使いいただくために（続き）

	<h3>警告</h3>	<p>以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
	<p>分解禁止</p>	<p>この機器のカバーは絶対に外さない カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。</p>
		<p>この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。</p>
	<h3>注意</h3>	<p>以下の内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>
	<p>電源プラグをコンセントから抜く</p>	<p>移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります</p> <p>旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となる場合があります。</p>
	<p>指示</p>	<p>オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する また、接続は指定のケーブルを使用する</p> <p>電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となる場合があります。</p> <p>この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。</p> <p>この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障・火災・感電の原因となります。</p>
	<p>禁止</p>	<p>ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となる場合があります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。 必ずプラグを持って抜いてください。</p>
	<p>禁止</p>	<p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となる場合があります。</p>

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

 警告 乾電池に関する注意	
 禁止	乾電池は絶対に充電しない。 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

 警告 電池に関する警告	
 強制	電池を入れるときは、極性表示（プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き）に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
 禁止	指定以外の電池は使用しない。 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなる場所で保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

 注意 電池に関する注意	
 禁止	金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。 ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 分解禁止	分解しない。 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

 愛情点検	電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。 内部にほこりがたままま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。 5年に1度は、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。
---	---

お使いになる前に

⚠ 設置の注意

- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなる場所に置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。
- PD-501HR や NT-505 等他の 501/503/505 シリーズとの重ね置きは問題ありません。但し、発熱により保護回路が動作し、突然音が出なくなった場合は、放熱をよくするために本機を上段に置かず、壁や他の機器との間を少し離して置いてください。
- CD、CD-R、カセットテープ、他のオーディオ機器など、熱に弱いものを本機の上に置かないでください。破損の恐れがあります。
- 上に布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上に置かないでください。本機が過熱したり破損したりする恐れがあります。

お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

- ⚠ **お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。**

リモコンの使い方

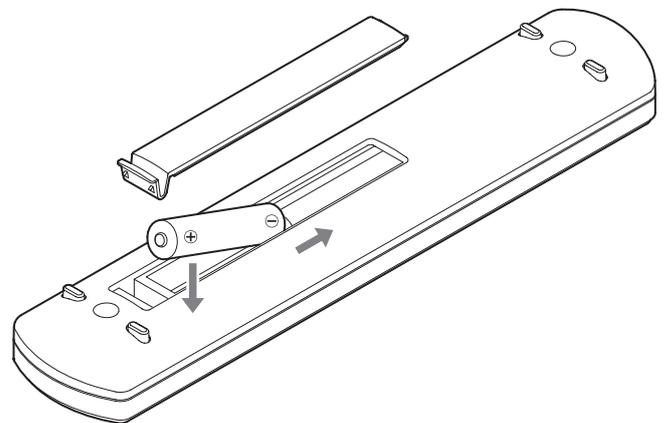
使用上の注意

- ⚠ **乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。5 ページの注意をよく読んでお使いください。**

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明があたると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

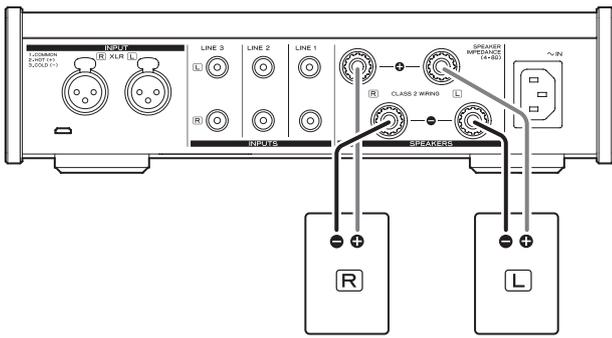
リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 (単 4 形) 2 本を入れて、フタを閉めてください。



電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

スピーカーの接続



⚠ 接続時の注意

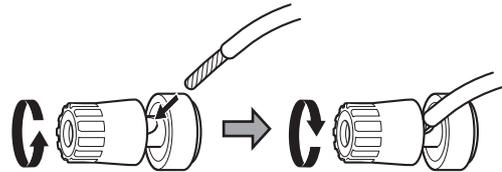
- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- アンプ内蔵のサブウーハー等で、左 / 右のグラウンドが共通となっているものは、接続の状態によってはご使用いただけない可能性があります。

ご注意

- 本機は公称インピーダンスが4Ωから8Ωのスピーカーに対応しています。4Ωより低いスピーカーを使用すると、保護回路が働いて音が出なくなったり、場合によっては本機やスピーカーが故障する恐れがあります。
- 本機の赤い端子が⊕、黒い端子が⊖になります。スピーカーケーブルのマークされている側を本機の⊕端子に、もう片方のケーブルを⊖端子に接続してください。
- スピーカーケーブルの先端の芯線が露出している部分が、他のケーブルや端子に接触するとショートすることがあります。
- スピーカーケーブルは絶対にショートさせないでください。
- 雑音を防ぐため、スピーカーケーブルは電源コードなどその他のケーブルと一緒に束ねないでください。

接続のしかた

- 1** スピーカーケーブルの被覆を約1cmむき、芯線をよくねじる。
- 2** 接続端子のつまみを左に回して緩める。
- 3** 芯線を端子ネジにある穴に挿入し、つまみを右に回してしっかり締め付ける。



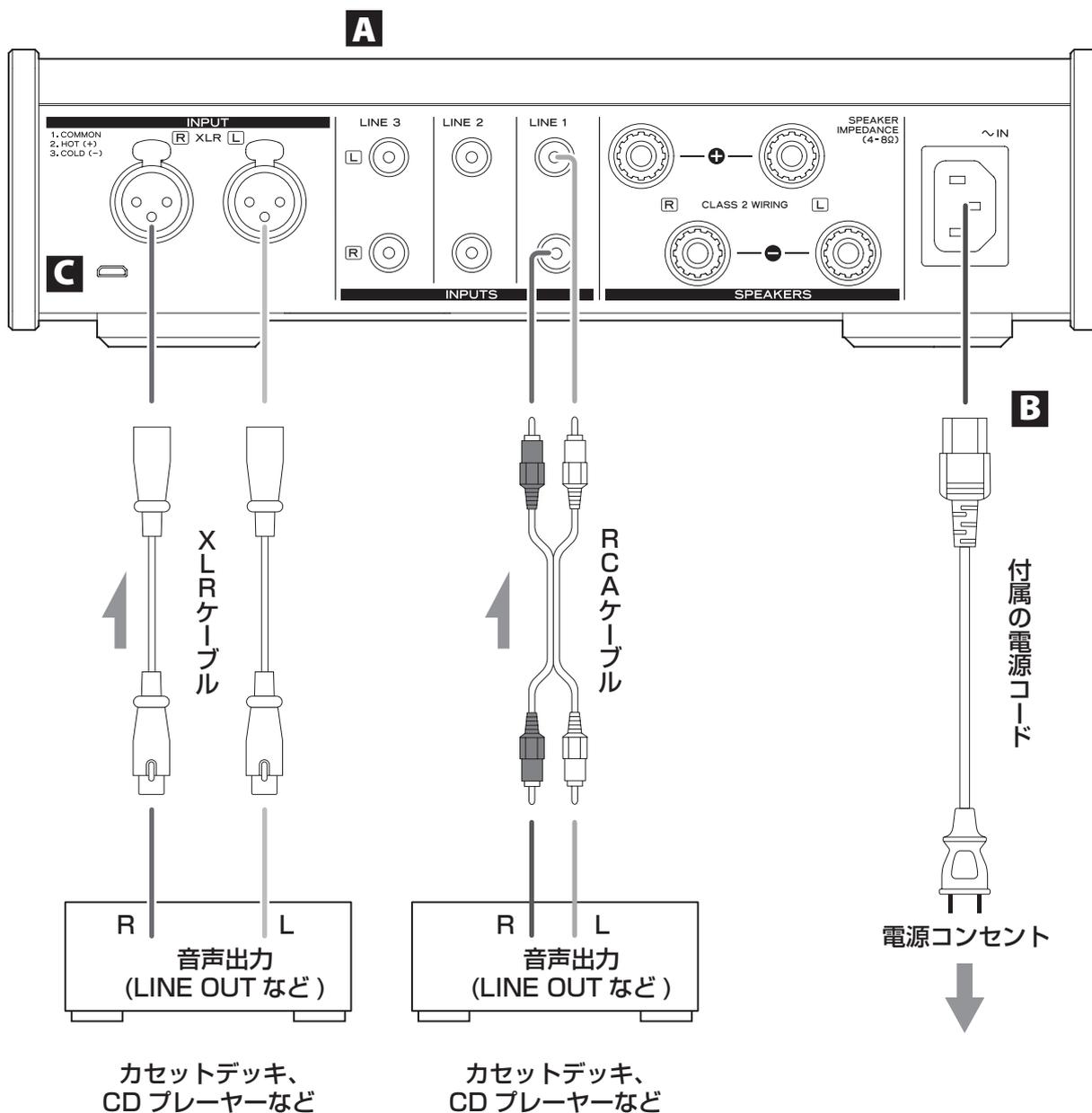
- ケーブルの被覆が端子と接触しないように接続してください。

- 4** ケーブルを軽く引っ張り、しっかり挿入されているか確認する。

バナナプラグでの接続

市販のバナナプラグを使用して接続することもできます。スピーカーケーブルをバナナプラグに接続してから、プラグをターミナルに差し込みます。

- つまみを締めた状態でご使用ください。
- ご使用になるバナナプラグの説明書をよくお読みください。



A アナログ音声入力端子

(LINE 1)、(LINE 2)、(LINE 3)、(XLR)

ステレオのアナログ音声を入力します。この端子にカセットデッキやCDプレーヤーなどの音声出力機器の音声出力端子を接続してください。本機のR端子と音声出力機器のR端子、本機のL端子と音声出力機器のL端子をそれぞれ接続してください。

- 本機のXLR端子は「2番HOT」です。

接続には市販のオーディオケーブルをお使いください。

- LINE 1 : RCA ケーブル
- LINE 2 : RCA ケーブル
- LINE 3 : RCA ケーブル
- XLR : XLR ケーブル

B 電源インレット (～ IN)

付属の電源コードを差し込んでください。
全ての接続が終わったら、電源プラグを AC100V
の電源コンセントに差し込んでください。

! 付属の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。

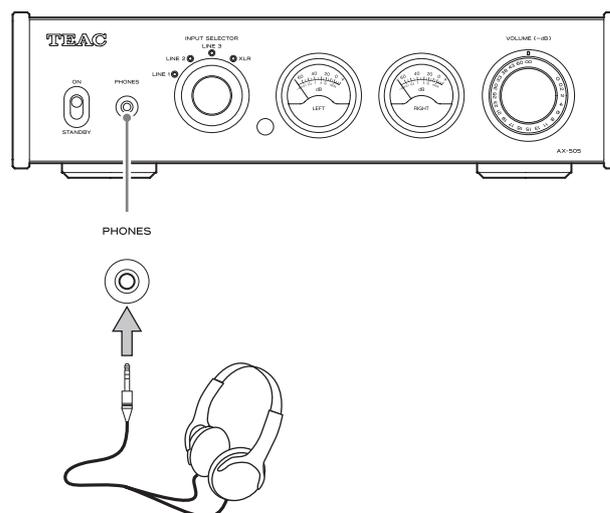
! 全ての接続が終わってからスタンバイ/オンスイッチ (STANDBY/ON) を ON にしてください。

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるため、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。

C メンテナンス用端子

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

ヘッドホンの接続

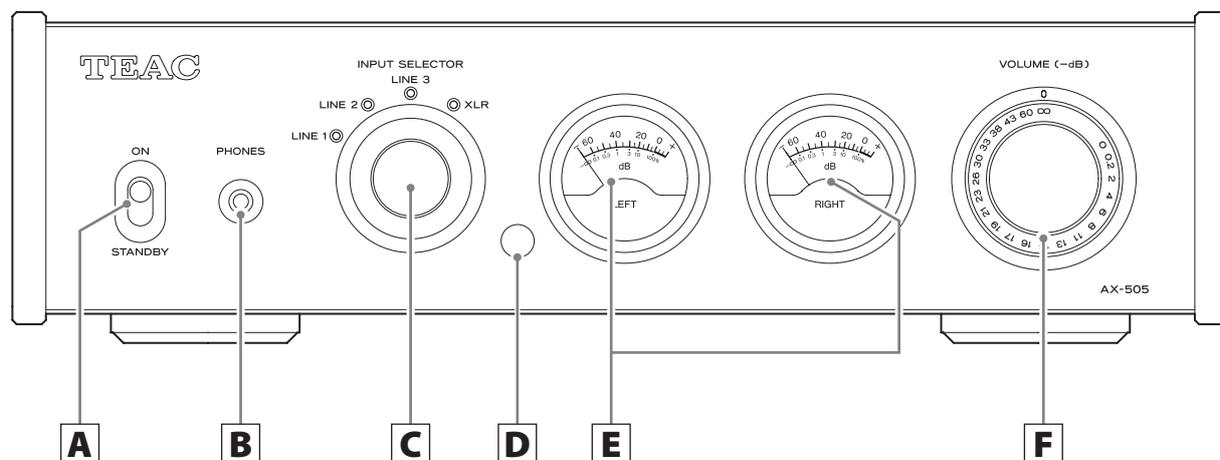


! 注意

ヘッドホンに耳を着けたまま、電源のオン/オフや、ヘッドホンプラグの抜き差しを行わないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。

必ず音量を最小 (-∞ dB) の位置まで下げてからヘッドホンを装着してください。(12 ページ)

各部の名前とはたらき（本体）



A スタンバイ / オンスイッチ (STANDBY/ON)

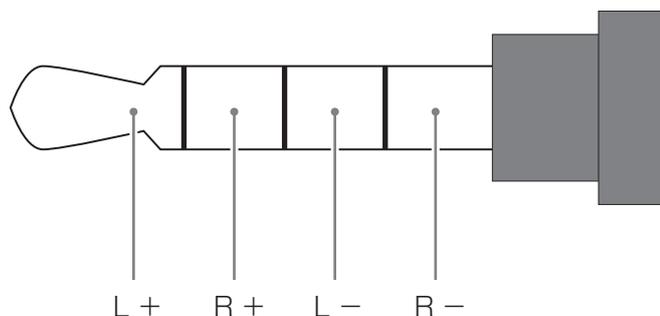
電源をスタンバイ / オンします。

B ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンプラグ (3.5mm ステレオミニプラグ) を接続します。(9 ページ)

- ヘッドホンアンプ回路のグランドを LR 独立とした 4 極端子を採用しています。通常の 3 極および 4 極のプラグが使用できます。
- 本機にヘッドホンを接続すると、ヘッドホン端子に音声が出力され、リアパネルのスピーカー端子 (SPEAKERS) からの音声出力はオフされます。

結線図



C 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR)

入力ソースを切り換えます。選択されているソースのインジケーターが点灯します。

D リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をリモコン受光部に向けて操作してください。

E レベルメーター

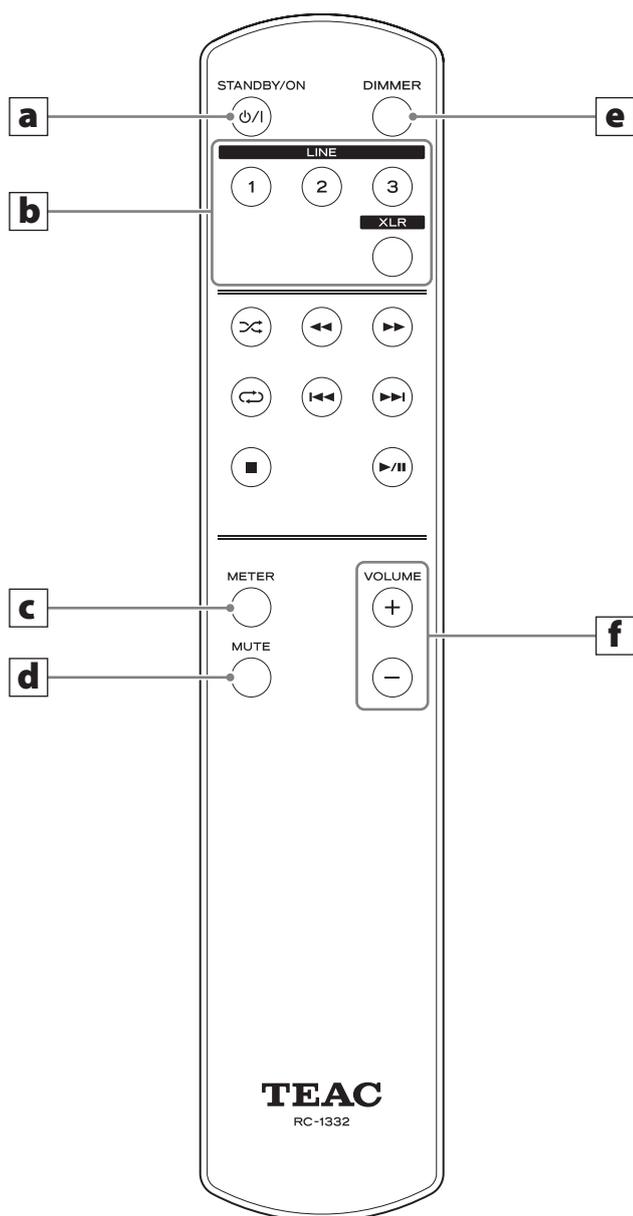
出力レベルを表示します。

F 音量つまみ (VOLUME)

音量を調節します。右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

音量は、0 が最大、 $-\infty$ (マイナス無限大) が最小です。スタンバイ / オンスイッチ (STANDBY/ON) を ON にする前に音量つまみ (VOLUME) を最小 ($-\infty$) にしてください。突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害などの原因となることがあります。

各部の名前とはたらき (リモコン)



a スタンバイ / オンボタン (STANDBY/ON)

電源をスタンバイ / オンします。

b 入力切換ボタン

再生するソースを選択します。

c メーターボタン (METER)

レベルメーターの動作を切り換えます。

d 消音ボタン (MUTE)

消音ボタン (MUTE) を押すと一時的に音を消すことができます。もう一度押すと消音が解除されます。(13 ページ)

長押しすると、本機の設定を工場出荷時の設定に戻します。(13 ページ)

e ディマーボタン (DIMMER)

入力ソースインジケータとレベルメーターの明るさを変更します。

このボタンを押すたびに明るさが以下のように切り換わります。

インジケータ : 明、メーター : 明



インジケータ : 中、メーター : 中



インジケータ : 暗、メーター : 暗



インジケータ : 暗、メーター : オフ

f 音量ボタン (VOLUME +, -)

音量を調節します。

音量ボタンを押し続けると、音量が連続して変化します。

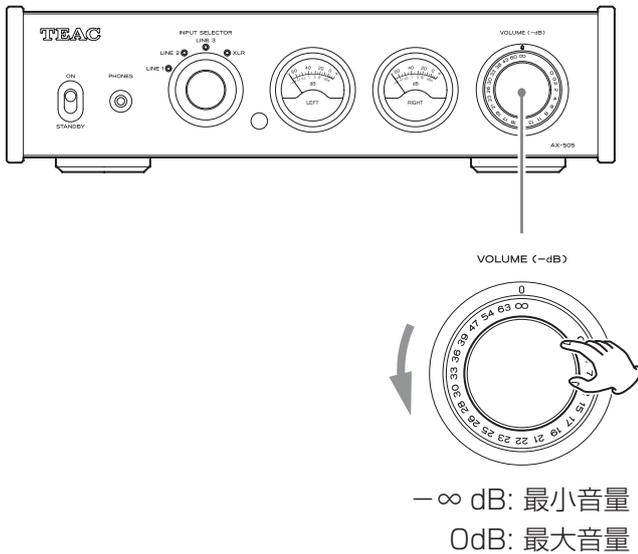
本機に付属するリモコン (RC-1332) は AX-505 と PD-501HR をコントロールすることができます。本取扱説明書では AX-505 で使用するボタンを解説します。

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

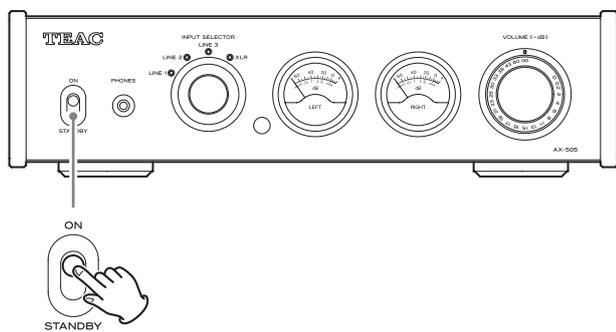
基本操作

1 音量を最小にする。

音量つまみ (VOLUME) またはリモコンの音量ボタン (VOLUME) を操作して、音量を最小にして下さい。

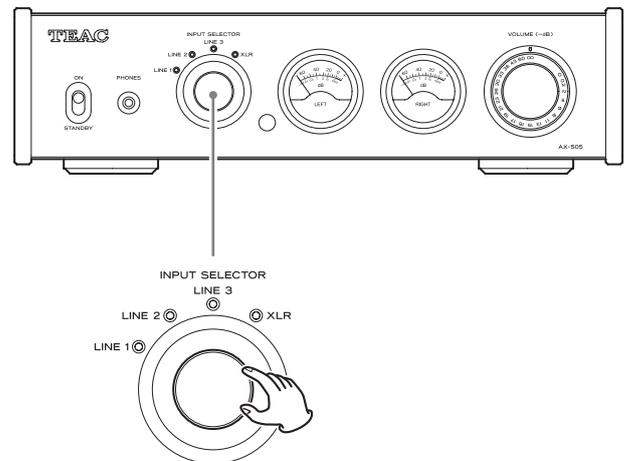


2 スタンバイ / オンスイッチ (STANDBY/ON) を ON にする。



入力ソースインジケータが点滅し、消音機能 (MUTE) がオンになります。アンプの動作が安定すると点灯し消音機能 (MUTE) がオフになります。

3 入力切換つまみ (INPUT SELECTOR) を回して、入力ソースを選ぶ。

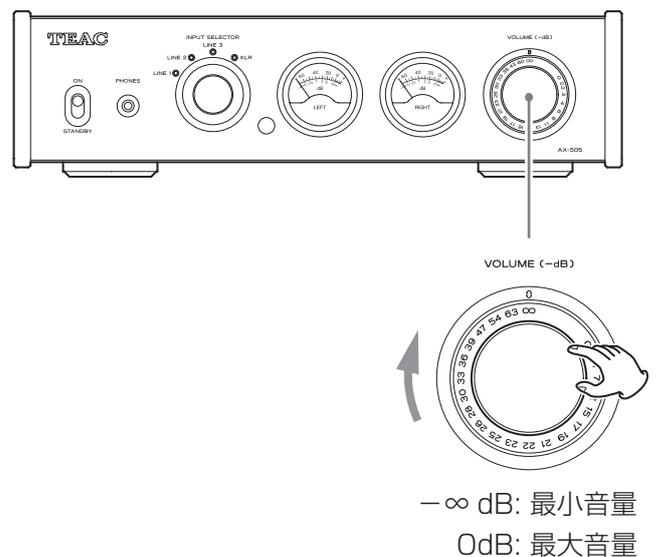


選択したソースの入カインジケータが点灯します。

4 再生する機器を操作する。

詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

5 音量を調節する



ソースを再生し、音量つまみ (VOLUME) またはリモコンの音量ボタン (VOLUME) を操作して、適切な音量に調節してください。

オートパワーセーブ

本製品には、オートパワーセーブ機能があります。オートパワーセーブをオンに設定した場合、音声入力のない状態で、約30分以上操作しないと、スタンバイ状態になります。

オートパワーセーブの設定状態は、電源投入直後の入力ソースインジケータで確認できます。

オートパワーセーブ オン

2秒周期で点滅

オートパワーセーブ オフ

2秒間全点灯した後、2秒周期で点滅

オートパワーセーブのオン、オフを切り換える

1 リモコンのスタンバイ / オンボタン (STANDBY/ON) を押して、電源をスタンバイにする。

2 リモコンのスタンバイ / オンボタン (STANDBY/ON) を3秒間長押しする。

電源がオンになり、すべての入力ソースインジケータが点滅して、設定のオン、オフが切り換わります。

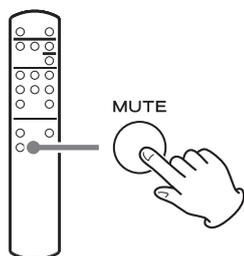


消音する

本機の音量を一時的に消音したい場合は、リモコンの消音ボタン (MUTE) を押してください。

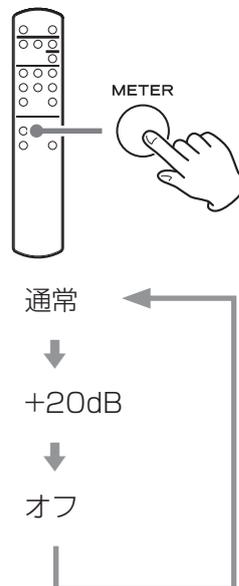
- 消音中は、入力ソースインジケータが点滅します。

再度リモコンの消音ボタン (MUTE) を押すと消音が解除されます。



レベルメーターの動作を切り換える

リモコンのメーターボタン (METER) を押すたびに以下のように操作が変わります。

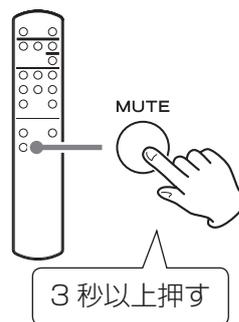


- レベルメーターの動作を +20dB にすると、通常の時より針の振れが大きくなります。

各種設定を工場出荷時の設定に戻す

音量を最小にしてから、リモコンの消音ボタン (MUTE) を3秒以上押します。

入力ソースインジケータとレベルメーターが点滅し、再起動したら初期化終了です。



困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご連絡ください。

一般

電源が入らない

- ➔ 電源コードがきちんと電源に接続されているか、差し込みが不完全ではないかを確認してください。コンセントがスイッチ式の場合、オンになっているか確認してください。
- ➔ コンセントに他の電気機器を接続して、電気が供給されているか確かめてください。

音が出ない

- ➔ 音量つまみ（VOLUME）で音量を調節してください。右側に回すと音量が上がります。（10 ページ）
- ➔ 入力切換つまみ（INPUT SELECTOR）で聴きたいソースを選んでください。（12 ページ）
- ➔ 外部機器の接続をもう一度確認してください。

リモコンで操作できない

- ➔ 本体のスタンバイ / オンスイッチ (STANDBY / ON) スイッチを ON にしてから操作してください。
- ➔ 電池が消耗していたら、2 本とも新しい電池に交換してください。
- ➔ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。
本体の正面から 5 メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

テレビなどが誤動作する

- ➔ ワイヤレスリモコン機能を持つテレビの一部には、本機のリモコン操作により誤動作するものがあります。
その場合は、本機のリモコンを操作する間は他の機器の電源を切ってください。

雑音がする

- ➔ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

ブーンというノイズが聞こえる

- ➔ 接続ケーブルの近くに電源コードや蛍光灯等がある場合は、本機からできるだけ遠ざけてください。

ヘッドホンの片側からしか音が出ない

- ➔ ヘッドホンプラグが奥まで差し込まれているかチェックしてください。

レベルメータの照明が点滅して音が出ない

- ➔ スピーカーケーブルの ⊕ と ⊖ がショートしている可能性があります。スタンバイ / オンスイッチ (STANDBY / ON) を STANDBY にし、スピーカーとの接続を確認してください。

急に音が出なくなり、レベルメータの照明が点滅している

- ➔ 温度上昇や過負荷などのために保護回路が動作したと考えられます。一旦スタンバイ / オンスイッチ (STANDBY / ON) を STANDBY にして、電源やスピーカーの接続を確認し、数分経ってから再度 ON にして下さい。
本体が高温になっている場合、壁や他の機器との間隔を広げて放熱をよくしてください。

オートパワーセーブにより電源がスタンバイになった

- ➔ 一旦スタンバイ / オンスイッチ (STANDBY / ON) を STANDBY にして、再度 ON にして下さい。

仕様

アンプ部

定格出力..... 115W + 115W
(4Ω、1kHz、THD 0.8%)
70W + 70W
(8Ω、1kHz、THD 0.8%)
スピーカー適合インピーダンス..... 4Ω ~ 8Ω
全高調波歪率 0.002%
(8Ω、1kHz、12.5W、JEITA)
S/N比..... 110dB
(8Ω、1kHz、IHF-A)
周波数特性 10Hz ~ 50kHz(- 5dB)
(8Ω、1kHz、1W、JEITA)

ヘッドホン出力

コネクタ..... 3.5mm 4極ステレオミニジャック
最大出力レベル..... 360mW + 360mW
(32Ω 負荷、THD 10%、JEITA)
周波数特性 5Hz ~ 150kHz(- 3dB)
歪率 0.003%
(出力 30mW 32Ω 負荷、JEITA)
S/N比..... 115dB
適合負荷インピーダンス..... 16 ~ 600Ω

アナログ入力

LINE 端子..... 3系統
最大入力レベル..... 2.5Vrms
入力インピーダンス 10kΩ 以上
XLR 端子 1系統
最大入力レベル..... 3Vrms
入力インピーダンス 10kΩ 以上

一般

電源電圧..... AC 100V (50/60Hz)
消費電力..... 110W
外形寸法..... 290mm x 81.2mm x 264mm
(WxHxD、突起部を含む)
重量 4.2kg
許容動作温度 +5℃ ~ +35℃
許容動作湿度 5% ~ 85% (結露のないこと)
許容保管温度 - 20℃ ~ +55℃

付属品

電源コード x 1
リモコン (RC-1332) x 1
リモコン用乾電池 (単4) x 2
取扱説明書 (本書、保証書付き) x 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

保証とアフターサービス

■保証書

この製品には保証書が添付されています。保証書は、お買い上げの際に販売店が「お買い上げ日・販売店名」等を記入した上でお渡し致します。記入事項及び記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から一年です。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

14ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター(裏表紙に記載)にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害(録音内容などの補償)の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。

測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。

その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他：製品を送るために必要な送料/梱包料などがあります。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：プリメインアンプ
AX-505

シリアルナンバー：

お買い上げ日：

販売店名：

お客様のご連絡先

故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要な収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

保証書

品名	プリメインアンブ		
および形名	AX-505		
機番			
保証期間	本体	1年	
お買上げ日	年 月 日		
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒	
	電話	()	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用していただく場合がございますので、ご了承ください。

所在地・名称(印)
見本
電話 ()

無料修理規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。無償修理の対象は、お客さまが日本国内において購入された日本国内向け当社製品に限定されます。
- ご転居、ご贈答品等でお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
- 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

- (6) メンテナンス
 - (7) 本書の提示がない場合
 - (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名(印)の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47 <https://teac.jp/jp>

この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ

AV お客様相談室 〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47



0570-000-701

● 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用頂けない場合
電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242
受付時間は、9:30～12:00/13:00～17:00です。
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田 858



0570-000-501

● 携帯電話、またはナビダイヤルがご利用頂けない場合
電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036
受付時間は、9:30～17:00です。
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。